



パッテロー通信



《学校の教育目標》 心豊かでたくましい実践力をもつ子

平成30年11月 1日

地域の熱意が子どもを育てる

校長 加藤 辰司

10月17日(水)の3時間目に本年度から初めて、味覚の授業を4年生を対象として実施しました。この授業は、和知出身で現在可見市のフランス料理店「リリアーヌ」を営んでみえる大脇房夫さんからの熱心なお誘いによって実現した行事です。

味覚の授業という言葉自体は、なかなかなじみのない言葉ですが、これは、1990年にフランスから始まり、その後日本に導入されました。10月中旬の1週間を「味覚の一週間」と名づけ、その期間中に五感を使って様々な食育活動が行われています。

岐阜県内でのその先駆者が大脇さんであり、今年は、既に愛知県や東濃地方の学校で実施され、可茂地区においては、この和知小学校で本年度初めて行われたわけです。

実は、この活動を今年から始めるに当たっては、既に1年前から大脇さんが本校に相談のために来校されました。岐阜県で実施するに当たり、なんとか大脇さんの母校でもある和知小学校で最初に行いたいという強い願いを持って来校されました。その熱い思いこそ、八百津町の教育の重点でもある「ふるさと教育」が大切にしている「子どもたちが大きくなって、たとえ違う場所にいたとしてもこのふるさと八百津を大切にしてもらいたい」というねらいにつながるものです。そしてその思いを、当日の授業で子どもたちに直接伝えていただきました。

当日は、フランス料理専門の方が大脇さんの他に2名、そして和食専門の方が3名の合計6名の方が訪問してくださいました。授業は、人間が感じることができる五つの味を実際に食しながら、大脇さんの説明を聞きました。(ちなみにこの五つの味は、2面にてお知らせします。)子どもたちは、事前に自分たちで組みたてた帽子をかぶりながら、一つ一つの味を笑顔でかみしめていました。もしかしたら、将来この授業をきっかけに料理の道に進む子も出てくるかもしれません。授業終了後、全員で運動場に出て先ほどの帽子を投げ上げながら、記念写真を撮りました。まさに地域の熱い思いが、子どもたちの笑顔をつくる瞬間に立ち会えたことに幸せを感じました。

地域の思いを受けての活動としては、10月26日(金)の午前中に1年生がヤギとのふれあい体験も行いました。これも役場の総務課からの熱心なお誘いによって実現したものです。除草で活用しているヤギに直接接触れる機会を設け、子どもたちに命の大切さ、八百津の自然の豊かさを実感してもらいたいという熱い思いから実現したものです。1年生の子どもたちは、初めて触れるヤギに最初はおっかなびっくりでしたが、だんだん慣れるに従って自分からヤギとふれあえるようになっていきました。八百津町では、開かれた学校をめざして、コミュニティスクールの導入に向けての動きが進んでいます。和知小学校でも、今後も地域の熱い願いを学校の教育活動に積極的に生かしながら、子どもたちの成長をより一層促していきたいと考えています。



いろいろな味を味わう



恐る恐るヤギを触る

10月の「パッテロー活動」

仲間と知恵を出し合い、課題を追究しました。

◆公開授業【4年生国語】



「結末についてどう思う？」3人グループで自分の考えを交流しあい、グループの考えをまとめました。

◆公開授業【6年生学活】



加茂郡小中学校代表の先生方に「エンカウンター」の授業を見ていただきました。

◆社会見学【1・2年生 県博物館】



岐阜県博物館へ行き、三葉虫等のレプリカづくりを体験したり、昆虫・恐竜の話を聞いたりしました。

◆社会見学【3年生 文化の森】



美濃加茂文化の森へ行き、昔の暮らしについて話を聞いたり、実際に道具を使ったりしました。

◆青空合宿【5年生】



中池自然の家では火おこしからカレー作りを行う等、普段できない体験を仲間と協力してやりきりました。

◆後期委員会スタート



後期の委員長6名、頑張っています。
【運営】徳永琳汰朗さん 【運動】市川友輔さん
【健康】竹地拓さん 【図書】乗原杏理さん
【放送】梅村美羽さん 【美化】安藤妃乃さん

10月の「地域協力隊」

◇さつまいもほり【1年生】



尾関一夫さんのご協力のもと、さつまいもほりの体験をさせていただきました。

◇味覚の授業【4年生】



大脳房夫さんより5つの味（甘味、旨味、塩味、苦味、酸味）について教えていただきました。大脳さんには毎年、本も寄贈していただいています。

秋の作品展出品者を紹介します (敬称略)

加茂郡小学校 図画工作書写展 (11月17日～22日 於：和知小図工室)

*観覧の時間帯を決めています。本日配布しました「開催のお知らせ」でご確認ください。

図画工作の部			書写の部		
1年	徳田 航貴	「ふかいうみのぼうけん」	1年	亀谷 怜那	「くじらぐも」
1年	林 柊志	「おおきい かぶりん」	2年	栗原 瑚愛	「お手紙」
2年	坂崎 舞	「ドラゴンのたまご」	2年	白石 泰雅	「おてがみ」
3年	古田 和	「泳ぐぼく」	3年	飯田 咲優	「大」
4年	因幡 心桜	「サワガニ見つけたよ」	4年	三宅 紬円	「竹笛」
5年	伊佐治暖都	「僕の好きな場所」	5年	後藤 舞	「文庫」
6年	渡邊 心花	「強さ」	5年	小池 竜毅	「文庫」
6年	大脇 宙杜	「80m走でがんばったぼく」	6年	清水 稟斗	「ふれあい」

八百津町 産業文化祭 (11月10日～11日 於：八百津町ファミリーセンター)

図画工作の部			書写の部		
1年	西尾 空真	「にんきもののカプリン」	1年	吉田 桃子	「くじらぐも」
2年	大脇 由蒼	「たたかいの木のたまご」	2年	可児 明穂	「お手紙」
3年	村雲 穂佳	「わぁ 食べられちゃう」	3年	今井 葉月	「大」
4年	栗原 季菜	「あっ ここにもいた」	3年	貝川 未桜	「大」
4年	鈴木凰太郎	「生き物見つけたよ」	4年	石黒 栞子	「竹笛」
5年	中谷 堇	「私の好きな場所」	4年	篠田 羚司	「竹笛」
6年	石井 栞奈	「走る自分」	5年	長瀬帆乃香	「文庫」
			6年	白石亜香里	「ふれあい」

平成30年度全国学力・学習状況調査より

本校6年生においてよくできていた点(○)と課題となる点(▲)についてお知らせします。

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと(国語)
- 複数の情報を解釈し、数量の関係に着目して問題を解決すること(算数)
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用すること(理科)
- ▲目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くこと(国語)
- ▲小数の除法・円周率の意味について説明すること(算数)
- ▲予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること(理科)

児童質問紙にみられた和知小のよさをお知らせします。

- 朝食をとること、就寝・起床時刻など、規則正しい生活ができている子が多い。
- 学校のきまりや友達との約束を守っている子が多い。
- 自分のよさを自覚し、成功体験をもっている子が多い。
- 将来の夢や目標をもっている子が多い。

この結果を踏まえ、次の点に力を入れて指導にあたります。

- ◇ペアや小グループを活用して、課題について自分の考えを仲間に伝える場面をつくり、相手に自分の考えが伝わったかどうか確かめます。
- ◇「パッテロースピリッツあふれる学校」を一層推進し、人の役にたつことの喜びを感じて動く姿を認め、広めます。